

平成23年行政事業レビューシート

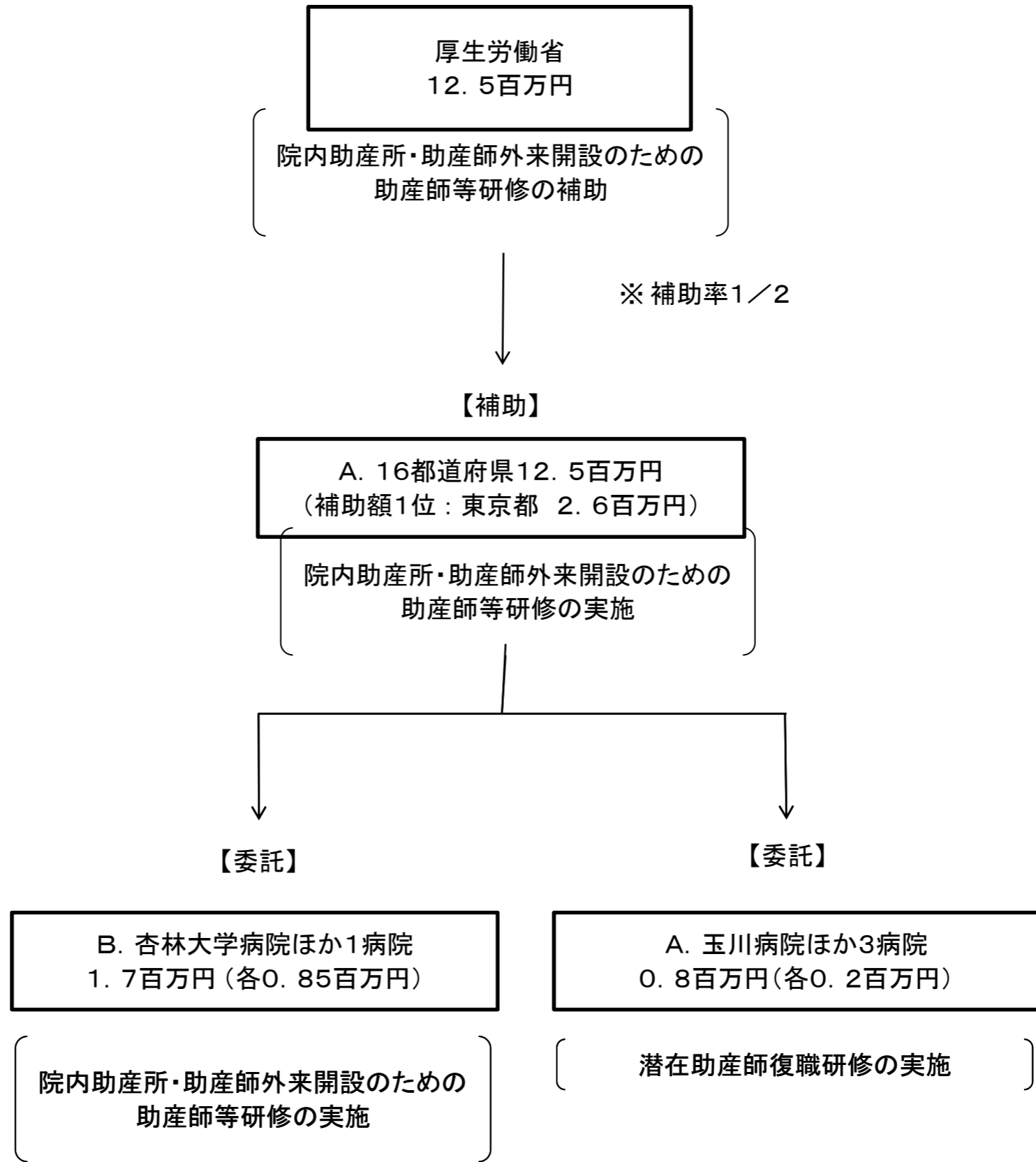
(厚生労働省)

事業名	助産師活用推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	看護課		課長：岩澤和子	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	妊産婦等の多様なニーズに応え、地域において助産師の確保・活用を推進し、安全・安心・快適なお産の場の確保を図ることを目的とする。 ①助産師活用推進協議会②院内助産所・助産師外来助産師等研修事業③助産所管理者研修事業④潜在助産師復職研修事業を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関や助産所、助産師学校養成所などが連携し、地域において助産師の確保や活用策等を協議する体制の構築を図り、地域における個々の実情に応じた施策が実行されるよう支援を行う。 実施主体：都道府県 補助率：国1/2、県1/2 1, 801千円						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算			113	16	
		繰越し等					
		計			113	16	
	執行額			13			
	執行率 (%)			11.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	助産師の確保・活用を推進し、安全・安心・快適なお産の場の確保をが成果目標であり、これは定量的な実績として示せるものではない。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	助産師活用推進協議会開催回数	活動実績 (当初見込み)	回	-	-	10	-
				-	-	( ) ( )	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	474	-
				-	-	( ) ( )	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	潜在助産師復職研修受講者数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	220	-
				-	-	( ) ( )	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	助産所管理者研修受講者数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	0	-
				-	-	( ) ( )	
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	講師等謝金	7	0	「医療提供体制推進事業」に統合			
	実習施設謝金	5	0				
	委員等旅費	1	0				
	印刷製本費	1	0				
	賃金等	2	0				
	計	16	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の見直しの結果、平成23年度より院内助産所・助産師外来助産師等研修に特化した事業としている。引き続き必要な見直しを行ってまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なる予算の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行う。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成22年11月16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)は予算要求の縮減(半額)とされた。			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



A.東京都			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	通信運搬費等	0.1			
委託費	杏林大学病院ほか1病院へ委託 (院内助産所・助産師外来開設のため)	1.7			
委託費	玉川病院ほか3病院へ委託 (潜在助産師復職研修の実施)	0.8			
計		2.6	計		0
B.杏林大学病院ほか1病院			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	研修にかかる経費(謝金、消耗品費、 印刷製本費等)	1.7			
計		1.7	計		0
C.玉川病院ほか3病院			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	研修にかかる経費(謝金、消耗品費、 印刷製本費等)	0.8			
計		0.8	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修、潜在助産師復職研修	2.6		
2	京都府	潜在助産師復職研修	1.5		
3	宮城県	同上	1.3		
4	福島県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修、助産師活用推進協議会	1.2		
5	北海道	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修	1.1		
5	兵庫県	同上	1.1		
5	島根県	同上	1.1		
8	富山県	同上	0.5		
8	千葉県	同上	0.5		
10	三重県	同上	0.3		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	杏林大学病院	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.85		
2	葛飾赤十字産院	同上	0.85		
3					
4					
4					
4					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	玉川病院	潜在助産師復職研修の実施	0.2		
2	東邦大学大橋病院	同上	0.2		
3	東京医科大学病院	同上	0.2		
4	聖母病院	同上	0.2		
4					
4					
7					
8					
9					
10					